

## 【1. 概要】

- ・赤色防虫ネットの活用を推進するため、露地コマツナ、キャベツ育苗(秋冬キャベツ)において、現地展示圃場を設置し、アザミウマの防虫効果を確認した



図1. コマツナ展示圃

## 【2. 実践内容】

## (1) 取り組みの背景、経緯

- ・東京都はエコ農産物認証制度を推進しており、農薬使用回数削減を進めている
- ・コマツナの露地栽培では、赤色防虫ネットが導入されつつあるが、場所によって、白色の防虫ネットのトンネル被覆を行っているところも多くあることから、展示圃を設置し白色防虫ネット(遮光率17%)と赤色(同25%)の防虫効果を比較した(図1)
- ・秋冬キャベツでは、定植前の苗の段階で寄生したアザミウマの頭数が収穫物に影響を与えるため、育苗時の赤色ネットの防虫効果を確認した

## (2) 普及にあたって生じた課題等、その理由

- ・赤色防虫ネットの防除効果が確認できたが、育苗キャベツでは、赤色ネット:70頭、白色ネット:124頭といずれも低発生だったため、今後は多発生の状況下での効果の確認が必要である

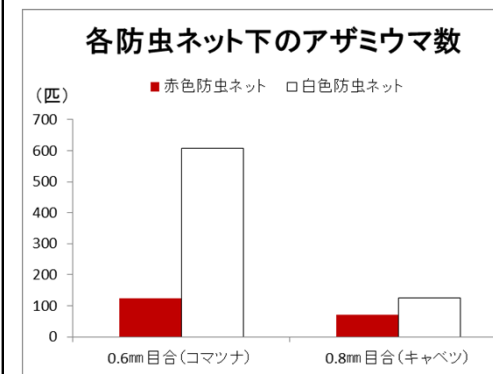


図2. 赤色防虫ネットの防除効果

## 【3. 得られた経験、課題に対する対応・解決策】

- ・赤色防虫ネットはアザミウマ数を減少させる効果があった(図2)
- ・キャベツの育苗時では、アザミウマが多発生する状況で再検討が必要
- ・施設での利用や連続使用に伴うネットの退色について防虫効果を確認していく(図3)
- ・赤色防虫ネットは遮光率が高いため、被覆による生育への影響を引き続き確認する



図3. 施設サイドに展張した赤色防虫ネット